

令和7年度 第3回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月6日（金） 午後2時00分から午後3時45分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階多目的教室
- 3 出席委員 青山 敏郎、 溝口 玄、 内野 永士、 今場 嘉寿、 長田 テツ子、
田中 綾、 太田 亜希子、 棚橋 巧
- 4 欠席委員 森口 紋太郎
- 5 オブザーバー 鈴木 孝（竜川ふれあいセンター所長）、
森下 智子（竜川主任児童委員）、 藤原 二三美（前龍山主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 7 学 校 長坂 麻里子（校長）、 川村 雄司（教頭）、 沖 みどり（CSディレクター）
- 8 教育委員会 加藤 大輔（学校・地域連携課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり

11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、今場委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）学校関係者評価について
- （2）次年度の学校経営の基本方針について
- （3）学校運営協議会の自己評価について

13 会議記録

司会の川村教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 「学び合う」ということは、子供たちにとって実感しにくい。学習指導の中で、手立てを工夫していくことが大切だと思う。（青山会長）
- ・ 子供との授業の流れをよい方向へ導いていくことで、教員としても達成感を味わうことができるのではないか。（溝口副会長）
- ・ P T A 活動の中での子供たちは、お互いに学び合っていると感じた。（棚橋委員）

- ・ いじめに関して、子供たちの様子を先生や親がよく観察することが大事だと思う。(内野委員)
- ・ 「いじめ」はあってはならないことである。横山小の子供たちには、いじめは感じられない。(長田委員)
- ・ 幼稚園等で個々の喧嘩だったものが、小学校に入り多人数となると、いじめに発展してしまうという心配はある。しかし、子供を信頼し、お互いの気持ちを尊重することができるまで、見守ることも大切だと思う。(田中委員)
- ・ 喧嘩をすることで、お互いの意見を言い合い理解することができるため、喧嘩といじめは一緒ではないと思う。親としては、子供たちで解決させ、介入しないよう心掛けている。(太田委員)
- ・ いじめの指導計画を立てること自体、大変なことだと思う。子供たちの逃げる場を作ること大切なのではないか。(溝口副会長)
- ・ 「いじめ」は見えなくても周りには存在している。常に気を配り、見逃さないようにしなくてはいけない。(今場委員)

(2) 次年度の学校経営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき次年度の学校経営基本方針について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき各委員から提出された自己評価について説明があり、取りまとめたものを学校運営協議会としての自己評価とすることを確認した。

その他報告事項等

それぞれの担当者から、夢育やらまいか事業（CS加算分）について、図書室・郷土資料室ボランティアについて、コミ・スクだより、「ちいさな親切」運動についての報告があった。

司会からは、次回会議を、令和8年5月14日（木）午後1時45分から3階多目的教室で開催する旨の報告があった。